

公表日: 令和5年3月30日

記入年月日: 令和 5年 3月 25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		指導訓練室と遊戯室を、子どもの特性を踏まえ構造化する等に対応を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		職員の配置数は適切である。日々の支援での工夫点など適宜情報共有し支援を行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		一日のスケジュールを可視化し、絵カードで示している。 絵カードを配置する場所も注意散漫にならない様に工夫として、背景等の環境を整えている。室内はバリアフリーになっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		日々、掃除及び感染予防をしっかりと行い、心地よく過ごせる様に工夫をおこなっている。また医療的ケア児が多いため、他児の活動する空間と分けている。安全面にも配慮し支援を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		センターとしての支援における具体的な目標設定を行い、職員会議の場で振り返りを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者からの多様な意見について真摯に受け止め、理由を考え、今後の支援に活かせるように改善するよう努めている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		毎月のお便りやホームページにて情報をお伝えしている。 日頃から保護者等との関わり、お子さんや保護者への支援に活かせる様に意見を出し合い、検討している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		現在、第三者評価は実施していない。今後は前向きに検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		社内研修に参加し、様々な視点を学び日々の支援に活かす様に取り組んでいる。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		対象児のアセスメントを行う中で、保護者からの情報も聞き取り、現在の姿を客観的に捉え、成長とともに必要な視点でアセスメント項目を追加し、計画書に落とし込んでいる。日々の支援はその内容に沿って実施している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツール及び社内のアセスメントツールを活用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		職員間で児童発達支援ガイドラインの内容を確認しながら、日々の支援について共通理解を図っている。支援内容については個別支援計画書に落とし込みここに合わせて設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		対象児の年齢が低いため、職員間で支援計画を適宜見直し支援を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		個々の特性を踏まえながら、個別・集団療育を行っている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		日替わりのプログラムを設定し実施している。 また、個々の目標となる要素を取り入れたプログラムとなっている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個別・集団療育を計画に沿って実施している。 活動のバリエーションを増やしながら、楽しく参加し「できた!」経験を積めるように工夫している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎日の開始前に必ず職員ミーティングを実施し、その日の受け入れ状況やお子さんへの支援内容や活動等について確認している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		支援後の職員ミーティングを実施し、支援内容や振り返りを実施している。 保護者からの苦情や事故等については迅速に対応している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		細やかに記録を残し、振り返りを行ったり、今後の支援に活かすことを実施している。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		定期的に日々の支援を振り返っている。 また発達段階に応じたモニタリングも実施している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童発達管理責任者やセンター長、必要に応じて対象児に精通した専門家も同行し参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	保健センター、こそだ世代包括支援センター、保育課、相談支援専門員等との関係機関と連携を行い、日々の支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療機関や保健センター、事業所内の看護師と、対象児の訪問看護師、医師、OTなどの専門職と連携し支援を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	委託医や主治医、その他協力機関と連携し支援を行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	法人内の江南市の障害児委託相談と連携し、支援体制の強化を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	センター内にある保育所等訪問支援や委託相談で連携を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	障害者等療育支援事業を実施しているため、愛知県の医療療育総合センターから助言や研修等を受けている。また他市町に関しても児童発達支援センターとして情報共有や助言等を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	現在は、コロナ禍にて活動を中止しているが、法人が開催する地域イベントに参加することで、交流を図る機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	子ども部会の会長として参加している。協議会の本会には子ども部会委員として参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳を活用し、センターでの様子や体調などを保護者と共有している。送迎時には保護者と直接話す時間を設けている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	1回を4クールに分けたペアレント・トレーニングを実施している。ドッグセラピーを利用したトレーニングも実施している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約の際に、丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	児童発達支援ガイドラインを共有したうえで、保護者と相談し計画づくりに活かしている。
	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	モニタリングを含め、定期的な保護者面談を行っている。緊急的な相談もお受けしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	母子通所を通じて、保護者同士のお話できる機会を促している。ペアトレに、親子で参加していただき機会を作っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	児童発達支援管理者をはじめ、相談員も交えながら対応している。相談しやすい体制づくりを行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月のお便りを発行し、情報発信を行なっている。法人発行の通信も合わせて発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人が特定されないようにフルネームでの記載は避けている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個々に合わせた合理的配慮をおこなっている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	行政機関や同業者、市内の公立保育園等の担当者の見学がある。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>	日常的に緊急時を想定した取り組みを実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>	定期的に災害時の避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>	契約時に疾患等について主治医の意見の確認や服薬等の確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>	保育所に提出している健康診断等の提示をお願いしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>	社内研修で共有し、事象が起きた際には資料作成し共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>	社内研修で共有し、なぜ虐待が起きるのか要因等を確認し、未然に防ぐように心がけている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>	身体拘束が必要な際には家族に同意をとったうえで実施することを、職員間で共通理解を図っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。